

第271回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成22年9月27日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
笠井 明	委員	吉原 浩	委員
碓井 真史	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	前川 磐
専務取締役（報道・制作・国際担当）	奥野富士郎
常務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	駒形 正明
報道制作局長	竹石 尚史
報道制作局次長 兼 報道制作部長	稲田 裕之
編成部長	中川 保彦
合評番組プロデューサー	羽田 朗

事務局	海津 智洋	紫竹 聡子	水野 明子
-----	-------	-------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「2010 参議院選挙企画 ～一票の現場から～」

『コメ王国の叫び』

〔放送 : 10年6月18日(金) 17:50~19:00〕

『山古志唯一の医師』

〔放送 : 10年6月21日(月) 17:50~19:00〕

『ものづくりの現場から』

〔放送 : 10年7月6日(金) 17:50~19:00〕

(説明: 番組プロデューサー 羽田 朗)

2) 会社報告

①BPO 放送と人権等権利に関する委員会決定

【上田・隣人トラブル殺人事件放送】(8月5日)

【機能訓練士からの訴え】(9月16日)

②7月、8月の視聴者の意見。(報告: 視聴者相談室長 海津 智洋)

③講じた措置、公表など定例の報告等。(報告: 事務局)

3) その他

5 審議の概要 (委員の意見)

会社側から、この番組は夕方ワイド「新潟一番」の県内ニュースの中で7月の参議院選挙の前に放送した「一票の現場から」という企画であり、企画趣旨としては「有権者が今困っている

ことや本当に必要としていることは何か」について、いろいろな一票の現場を歩いて生の声を拾い集めて、視聴者・有権者の一人一人に提示させてもらい、考えてもらえるようにした企画であること。選挙企画でありながら候補者が一切出てこない内容であることなどを報告した。

●おコメ、医療、ものづくりのニュースは日頃流れており、それぞれの分野で将来の展望が欠けていることは共通の問題として我々庶民は知っており、この番組が誰に対して問題提起しているかを考えると、政治家に対して訴求していると思えた。

●農業、医療、教育と日本の地方が抱えている問題を丁寧に取り上げている。特に背景に日本の人口が減少していること、そして高齢化社会が進んでいることの絶対的な事実を改めて感じられた。

●農家の担い手、診療所医師、伝統技能職人をテーマにしており、共通したキーワードは「後継者不足」。後継者の育成が待たなしの問題提起。処方箋を示すには至らないが総じてそれぞれの重要性をメッセージとしてうまく訴えていると思った。

●生の声を集めたのは素晴らしいが、それぞれの問題の原因や対策に至るまでもっと掘下げていかないと問題提起に終わり我々視聴者に何を求めているのかがわからない。日頃のニュースと異なり「一票の現場から」と銘打った企画であるからには更なる掘下げをして欲しかった。

●「コメ王国の叫び」では、全国では各地区ごとに合う農産物が違ってくるので各県で特殊な枠組みが必要であり、全国画一的な行政では農業に対する施策が展開できないと思った。新潟

県の例も踏まえその点を番組で訴求していると思った。

●コロコロ変わる農業政策に翻弄される現場の声。農業というピラミッドの業界の中で、トップと支えている現場のギャップを感じた。疲れ切った農家の方々の前にキラキラと輝く農業機械があるシーンは大変印象深く感じた。

●猫の目農政と批判されてはいるが、その一方で名前を変えながらその都度お金が付いていたのだと思う。米価下落に大きく影響され、これを補填しなければならないという点は、消費者側から見れば農家寄りの内容のように思った。

●米価下落による産地の苦境を取り上げている。戸別所得補償制度の初年度ということで、やはりこれをもっと具体的にじっくり掘下げて欲しかった。

●休耕田を借り上げ、人を集めてコメを作るという会社形式は、それで充分新しい業態として出来ると思った。農業の後継者というのではなくて、新たに若い人達が農業に魅力を感じて農作業をやろうというケースが増えており、そのあたりももう少し紹介してくれるとよかった。

●「山古志唯一の医師」では、地方医療でどんな政策がとられているか詳しく分からなくて、現状分析の解説を加えてもらえたらよかった。

●山古志の医師は個人としても医師としても非常に立派な方だと思うが、単に後継者がいないということではなくて辞めるに辞められない状況ではないのかと思った。

●過疎地だから医師が来ないということではなく、医師が来れない状況、環境になっている現状があるのではないか。医師としての研鑽機会の不足や、開業への困難さなど、医師を取り巻

く環境の不備からくる数々の医療問題を、行政は、政治はどう考えるのだという問題提起であると思った。

●過疎地域の医療問題だけだと都市部の人からは他人ごとのように思われがちだが、他にも診療科目による担当医の偏りだったり、地域での偏りだったり、もう一つ二つ例が欲しかった。

●「一部の医療関係者の頑張りに頼るのではなく、安心して医療を受けられる仕組み作りが必要」というコメントがよかった。

●「ものづくりの現場から」では、与板の400年続く打刃物の伝統を取り上げ、50年前には400人居た職人が今は35人であり若くても50歳代であるというレポートは具体的で説得力があった。もう何年かすれば産地が無くなるという言葉が非常に印象的だった。

●同じ「ものづくり」現場でも、与板の伝統的な手作りの技術、匠の技と、名古屋の下請け工場の量産できる技術、コスト生産技術の高度化とは、全く別のもの。問題点の区別がどこにあるのかという点を紹介してくれると良かった。

●世界に誇る匠の技も、コストダウンに喘ぐ下請け町工場も、将来展望が描けないでいる。これらものづくりの中小企業の現状に対して、「政治はどう考えるのか」という問題提起をしているのだと思った。

●三つのテーマに共通する処方箋は「現場のことは現場に任せる」という発想だと思った。地域農業、地域医療、地場産業、いずれも限られた権限と財源を地域に移して、地域住民に優先順位をつけさせることだと思った。昔のように国の支援が必要だという結論では問題解決に繋がらない。各テーマごとに視聴者に考えさせる番組内容になっていたように思った。

●三つのテーマとも選挙の時以外でも、地元の局として継続的に取り上げて行って欲しいと思った。

●自分たちの一票の重みを考えることができたと思った。

6 会社側の報告

1) BPO 放送と人権等権利に関する委員会決定

【上田・隣人トラブル殺人事件放送】

2008年12月23日にテレビ朝日で放送された「報道ステーション」の特集「身近に潜む境界トラブルの悲劇 住宅地の惨劇はなぜ起きた」で、上田市在住の夫婦が自分の土地に隣に住む男の車が入ってくるのを嫌がって障害物を置いたりした結果、この隣人の男に殺害された事件の放送内容について、被害者夫婦が長年にわたり加害者の男に嫌がらせをしてきたことが加害者の殺害動機になったという事実に反する内容だとして、被害者の遺族が名誉毀損にあたりと主張し放送内容の訂正と謝罪を求めて申し立てたもの。これに対しBPOは、放送内容は主要な部分において真実であり、または真実と信じるに足る相当の理由があったとして名誉毀損等違法行為は無かったと判断。一方で、この放送は取材や編集、放送の各段階において被害者夫婦および申立人遺族の名誉と生活の平穏に対する十分な配慮に欠ける点があったと認められるとして放送倫理上の問題があるとの決定をした。その決定内容を報告した。

【機能訓練士からの訴え】

TBSテレビの「報道特集NEXT」で2009年4月11日に

放送された特集「車イスの少女が入学できない訳」、同年11月7日に放送された特集「谷口明花さん入学・・・豊かな教育」で、この映像に映っていた少女担当の機能訓練士が、無断で訓練の映像を使用されたとして肖像権や名誉・財産権等の侵害を訴えて申し立てたもの。これに対し、BPOは申立人の社会的評価を低下させるような内容は存在しないことから名誉の侵害は無く、肖像の使用については4月の放送については事後の承諾、11月の放送については事前の承諾が得られていると認められることから肖像権の侵害はないと判断。放送倫理違反に当たる点も見当たらないとする決定をした。その決定内容を報告した。

2) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

7月…… 119件。

8月…… 1,119件

3) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成22年7月26日)から昨日(平成22年9月26日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置

- 1) 前回、第270回審議会では「バックパッカー」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
- 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第 271 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送しました。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載しました。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 7月、8月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 7月、8月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（7/23, 8/3, 8/23, 9/3, 9/13号）

以上